

渡島信用金庫が紺綬褒章を受章

昨年1月、町に1000万円寄附

このたび、渡島信用金庫（伊藤新吉理事長）が紺綬褒章を受章しました。2月13日に役場応接室で伝達式が執り行われ、盛田町長から褒状が伝達されました。

紺綬褒章は、公益のために私財を寄附した方に対し授与されるもので、同金庫は昨年1月に子ども子育て支援事業に役立ててほしいと、町に1000万円の寄附をした功績が認められ、今回の受章となりました。

このたびの受章、誠にありがとうございます。



体験授業や部活動見学で入学後をイメージ

鹿部小6年生が中学校へ体験入学

鹿部小学校6年生の体験入学が2月13日、鹿部中学校で行われました。

6年生の児童たちは、先輩たちが受けている授業の参観や、実際に数学の授業を体験したほか、様々な部活動を見学し、4月から始まる中学校生活をイメージしていました。



お互いのまちの課題、改善点を提案

鹿部中と附属中がオンラインで遠隔交流授業

鹿部中学校と北海道教育大学附属函館中学校の2年生が2月27日、タブレット端末を使用したオンライン交流授業を行いました。

授業では「まちの課題をどう解決するか」をテーマに、9グループに分かれてお互いのまちの課題や改善点を提案。附属中の生徒からは、鹿部町の別荘地としての全国的な知名度アップについての方策、鹿部中の生徒からは、函館市の

観光客を増加させるための方策についての発表があり、お互いに自分たちのまちについて知ることができる良い交流授業となりました。

釜澤さんが北海道知事賞に入選

第37回全道中学生の税をテーマとしたポスター募集

中学生の皆さんに「税」について関心を持ち、理解を深めてもらおうと、鹿部町納税貯蓄組合連合会が「税をテーマとしたポスター」の作品を中学校1年生に募集したところ、釜澤遼さんの作品が北海道知事賞に入選しました。3月6日に中学校で表彰式が開かれ、渡島総合振興局の石丸幸夫副局長から賞状と記念品が授与されました。

ポスターには貴重な美しい鳥を守りたいと、中央にタンチョウを2羽描き「道税で守る北海道」と標語を添えました。釜澤さんは「(作品を制作するにあたり)暮らしや環境が税に守られていると感じ、納税の大切さを学べた」と話していました。

